

国家公務員採用試験一般職（大卒程度）受験予定者の皆様へ

近畿中国森林管理局

で働いてみませんか！

先輩職員からのメッセージ

Yさん(平成30年採用 一般職(大卒程度)林学)



【現在取り組んでいる仕事】

私は森林管理局で森林環境教育を担当する部署に所属しています。元々自然や生物が好きで森林の保全に関わる仕事がしたいと思い林野庁に入りました。現在は国有林の手入れやイベントの準備、森林環境教育に使用する教材の作成等を主にしています。森林環境教育に関する仕事は、一般の方に森林や自然の大切さについて楽しくわかりやすく知っていただく仕事になります。難しいと感じることも多い反面、自然が好きなので楽しんで仕事をしています。

【職場の雰囲気】

穏やかで親切な人が多く、休憩時間や車の移動中に世間話をしたりしてコミュニケーションをとっています。上司や同僚との会話中に仕事の良いアイデアが出る時も多いです。

【林野庁の魅力】

普段からコミュニケーションをとりやすい職場で、斬新なアイデアや新たな発想があればそれを話しやすい環境です。そのため、自分が考えたアイデアや企画はその時の状況にもよりますが、尊重して採用してもらえることが多いです。そのアイデアは森林をより良くすることにつながるかもしれません。自分も既定の考えにとらわれず、未来を担う子供たちに森林の大切さを伝えるため色々考えていきたいと思っています。

Tさん(平成29年採用 一般職(大卒程度)林学)



【現在取り組んでいる仕事】

平成29年に森林管理署で採用となり、平成30年4月に森林事務所に異動となって、今年で入庁5年目となります。

主な業務としては、地域統括森林官が行う監督・調査の補助や国有林境界標の確認業務である「巡視・巡検・予備調査」業務を主に担当しています。

また今年度からは上記の仕事に加え、令和5年度から5年間の森林の伐採量を決定する森林計画策定の仕事にも携わっています。どの仕事も、木材の生産や国有林の境界線管理の礎となる重要な仕事です。責任はとても大きいですがその分やりがいも大きく、仕事に誇りを持って励んでいます。

【職場の雰囲気】

私が所属している森林事務所は治山事業所との合同事務所であり、職員は合わせて3人と森林管理署に比べると人数はとても少ないですが、気軽に報告や相談ができるアットホームな雰囲気です。時には3人で協力し汗をかきながら林道の横断溝の掃除を行うなど団結力は抜群です。

【林野庁の魅力】

実際に国有林という広大なフィールドで、長い期間の森林施業の一部に直接関わる事ができるところがとても魅力的だと感じています。「先輩方から受け継いだ国有林を適切に管理経営を行い、その成果を木の生長とともに未来の後輩達に託す」という長い時間の流れが感じられるのは林野庁ならではの体験です。また時折カモシカやアナグマ、ヤマドリ等の山の住民達と会えるのも、自然が好きな方にとってはとても魅力的な部分だと思います。

Y さん（平成31年採用 一般職(大卒程度) 林学）



【現在取り組んでいる仕事】

森林管理署の治山グループに所属しており、治山工事の測量・設計・監督、グループ内の補助的な業務に取り組んでいます。

治山事業とは、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から国民の生命・財産を保全する事業です。治山事業は山が舞台であるため、思いどおりに行かないことも多いですが、グループ内で相談しながら、事業が円滑に進むように監督業務を進めています。

治山グループ内の補助的な業務に関しては、文書作成、現場の職員から提出される写真等の整理、上局への状況報告といった事務作業を適宜行っています。

【職場の雰囲気】

わいわい3割 ぴりぴり1割 黙々6割

みんなで協力して仕事をする事が多く、わいわいとした雰囲気の時もあれば、仕事を立て込んだ時や何か問題が起こった時など、ぴりぴりとした雰囲気の時もあります。そうでない時は、みんな黙々と仕事をしています。

【林野庁の魅力】

森林管理署で働いていて、一番魅力と感ずることは、豊かな自然の中で仕事ができるということです。私の場合、週に1回程度の頻度で国有林へ出張をしています。確かに体力的にきついときもありますが、そうした時には、目の前に広がる四季折々の自然の景色に癒され、とても爽快な気分になります。

N さん(令和2年採用 一般職(大卒程度)土木)



【現在取り組んでいる仕事】

私は森林管理署の業務グループに所属し、1年目から資源活用担当として、2年目の8月からは経営担当として勤務しています。

資源活用担当としては、立木の伐採や販売を行う請負事業の計画立案や伐採計画箇所の現地調査などを行っていました。

経営担当としては、伐採計画箇所の資源量の調査や契約事務を行っています。調査では、実際に山に赴き立木の直径や高さを計測します。執務室内での事務作業だけでなく、山での現場業務もあるので体力が求められます。日頃の体調管理や作業後の身体のケアが重要だと感じます。

【職場の雰囲気】

先輩方が優しく、仕事上分からないことがあっても質問すれば快く教えてもらえます。私は土木での採用でしたので入庁当時は林業についてほとんど分からず不安がありました。が、直属の上司や先輩方だけでなく、他の部署の方や現場の森林官からも様々なことを教えていただけるので不自由することはありませんでした。

【林野庁の魅力】

山での仕事と事務仕事の両方を経験できるのは、他の官庁との大きな違いだと思います。山での作業は大変なこともあります。が、綺麗な空気を吸ったり身体を動かすことで気分をリフレッシュできます。

よくある質問にお答えします

Q1) 試験区分によって担当業務が限定されますか。

A) 試験区分により担当業務が限定されることはありません。林学、行政の区別なく、局又は署等で仕事をしてもらっています。

Q2) 採用時の配属先はどう決定されるのですか。

A) 採用時の配属先は、行政区分の方は試験地域内、その他の試験区分の方は、面接カードに記載された希望を参考にしながら配属先を決定します。

Q3) 採用後は、全国異動となるのですか。

A) 人事異動については、基本的に全国異動となりますが、配属先は、本人の希望や適性を見ながら決定しています。

Q4) 林学の知識がありませんが業務に支障はないですか。

A) 林野庁には充実した研修のシステムがあり、必要な知識を習得しながら業務を行っているため、心配はありません。また、実際に林学の知識が無い方もたくさん採用しており、皆さん活躍しています。

Q5) 体力に自信が無いのですが業務に問題はありませんか。

A) 森林のパトロールや収穫調査、境界の見回りなどの業務を行っていただくこととなりますので、普通の山を歩く体力は必要です。なお、山を歩く体力は、ある程度慣れればついてきますので心配ありません。

Q6) 林野庁には女性職員はどのくらいいますか。

A) 全職員の割合でいうと1割くらいですが、最近の採用状況は、女性職員が3割くらいと増えています。今後、男性職員が多い高年齢層が退職するため、大幅に増加する見込みです。

Q7) 林野庁の仕事と環境省の仕事はどのように異なるのですか。

A) 林野庁は、国土の面積の2割を占める広大な国有林の管理・経営の仕事を主に行っています。山（国有林）に木を植え、育てて、伐採し、木材を販売する林業の仕事に従事できる一方、貴重な森林生態系や生物群集からなる国有林を保護し、モニタリングする仕事や、民家や施設を土砂崩れから守る治山事業など森林に関する様々な仕事を現場で自らの手で実現できます。また、民有林の整備、木材の有効利用等の国有林以外の森林・林業に関する幅広い行政に従事することができます。

一方、環境省のうち、特にレンジャーの仕事は、国立公園の管理、野生生物の保護などが中心であり、森林のみを対象としておらず、林業・木材産業などの産業政策とは目的を異にしています。

【お問い合わせ先】
近畿中国森林管理局 総務課
TEL：06-6881-3421